Vol.187

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, NAGAOKA COLLEGE
KOSHI-DAI GAKUEN DAYORI

高志台 学園だより

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台　思い出のアルバム	04
さよなら高志台（卒業生）	05-09
さよなら高志台（専攻科修了生）	10-11
さよなら高志台（留学生）	12-13
さよなら高志台（退職する教職員）	14
卒業生・修了生表彰・進路状況	15
PICK UP 2015 世界に広がるKOSENの輪	16

高志台（こうしだい）

古代，新潟県を含む日本海側の一帯は，“こしのくに”（越の国・古志の国・高志の国）と呼ばれていました。学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台（こうしだい）」と命名しました。

独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology, Nagaoka College
〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 http://www.nagaoka-ct.ac.jp/

2016. 3. 19発行

卒業生・修了生に贈る言葉

卒業おめでとう

校長　渡邉　和忠

本日，長岡工業高等専門学校を卒業・修了される皆さん，おめでとう。教職員一同を代表して卒業生・修了生の皆さんに心からお祝いの言葉を申し上げます。また，この佳き日を迎えるまでの永きに渡ってご支援を賜りました保護者ならびにご関係の皆様に長岡高専として厚く御礼を申し上げます。

今年度，学科を卒業するのは，機械工学科34名，電気電子システム工学科43名，電子制御工学科40名，物質工学科42名，環境都市工学科46名の合計205名です。また，専攻科を修了するのは，電子機械システム工学専攻22名，物質工学専攻８名，環境都市工学専攻６名の合計36名です。卒業生のなかには留学生５名が含まれております。

皆さんは，長岡高専での日々を振り返ってどのように感じているでしょうか。楽しかったこと，嬉しかったこと，苦しかったこと，辛かったことの全てが今や思い出となり，年を経るごとに懐かしさが溢れ出てくることでしょう。今年度，学科を卒業される皆さんの多くが入学した５年前に，私も長岡高専の校長として着任し，皆さんと共に，ここ「高志台」で過ごして参りました。皆さんと同じように期待と不安を抱いて臨んだ入学式は，私にとっても思い出深いものであり，皆さんが「高志台」で学び，巣立っていく姿に格別の想いを禁じ得ません。５年前の入学式では，皆さんには，将来，「ものづくり」のリーダーとなって日本の発展に貢献して欲しい，そのために米百俵の精神を思い起こし，今は勉学に精進することこそ，長岡高専における皆さんの使命であるとお話をしました。皆さんは，その期待に見事に応えて厳しい勉学に耐え，めでたく長岡高専を卒業・修了する日を迎えてくれました。次は，社会に出て，あるいは大学・大学院に進学し，さらに精進を重ねて「ものづくり」のリーダーとなり，社会に貢献することです。「ものづくり」のリーダーとなるには，常に誰にも負けない実力を身につけていなければなりません。

今，世界では良くも悪くもグローバル化の流れが加速しています。この流れは誰も止めることができません。嘗ては，日本の中では，日本人が共通の認識を持ち，価値観や秩序が維持されていました。しかし，海外の企業が日本に押し寄せ，日本の企業も海外に進出し，人の往来も盛んになり，日本だけの価値観は意味を持たなくなりつつあります。競争は激化し，企業も人も実力のある者のみが生き残る弱肉強食の社会へと向かい，格差は日々，拡大する傾向にあります。学歴も家柄も関係ありません。自らの本当の実力が試される社会です。皆さんは，早くから技術者を目指し，長岡高専において必要な知識や技術を基礎から学び，同年齢の者と比べて圧倒的な知識と技術を身につけてきました。最新の知識や技術にも触れてきました。しかし，皆さんがここ「高志台」において身につけた本当の財産は，単なる知識や技術ではありません。最新の知識や技術は，皆さんの長い人生の中では，あっという間に古びて役に立たなくなってしまいます。また，どんなに知識や技術があっても使いこなすことができなければ役に立ちません。本当の財産は，知識や技術を貪欲に吸収し，それらを駆使して新たな「ものづくり」につなげる「技術者魂」です。「長岡高専スピリッツ」と言っても良いでしょう。この「長岡高専スピリッツ」こそ，皆さんの人生において常に誰にも負けない実力を持ち続けるための普遍的な財産です。長岡高専で得た，この大切な財産を最大限活かして「ものづくり」のリーダーになるべく更に研鑽を積んでください。

もう一つ，皆さんが「ものづくり」のリーダーとして活躍するために必要不可欠なことがあります。優れた人間性です。私たち教職員は保護者や全ての関係の方々と協力して，皆さんが立派な人間へと成長できるよう常に見守り，時には厳しく指導してきました。私たちは，皆さんが技術者として，また，人として，立派に育ってきたことを強く感じています。皆さんも，社会に出れば，きっと気がつくはずです。誰にも負けない実力と優しく強い心をもって社会で思う存分，力を発揮してください。そうすれば自ずと「ものづくり」のリーダーとして社会に貢献することができます。自信を持ってください。長岡高専はこれまで多くの優秀な人材を輩出してきた十分な実績があります。今，地方創生が唱えられていますが，これまでも長岡高専卒業生・修了生は地域産業を支え，地域の活性化に大いに貢献しています。世界で活躍している長岡高専卒業生・修了生も多くいます。自らの幸せと人類の幸せのために，地域で，国で，世界で，思う存分，力を発揮してください。

私たち教職員は，皆さんの人生において最も大切な成長の時を共に過し，喜びや苦労を分かち合えたことに心から感謝しています。皆さんが元気で活躍してくれることは，長岡高専に関係する全ての者にとって大きな喜びであり希望です。これからも，私たちの心は常に皆さんと共にあります。

結びに当たり，皆さんのこれからの人生が実り豊かで，幸多きものとなるよう心から願っています。

はばたく後輩の皆さん

後援会長　大橋　修

皆さん，ご卒業おめでとうございます。

私自身も30数年前，皆さんと同じように長岡高専を卒業し，社会に飛び込んで，もうすぐ会社からも卒業するという時期が間近に迫っています。今から振り返ると，あっという間に月日が流れた様な気がします。そんな中で，「あの時，ああすればよかった，こうすればよかった」という事は，少なからずあります。皆さんは，これまで保護者，クラスメートや先生方に支えられて，今日という日を迎えることができたという，感謝の気持ちをいつになっても忘れないで歩んで行ってください。進学される方も多数おられますが，遅かれ早かれ，これから一人で生きていかなければならないという現実の中で，30年先を見据えて，10年先を見て，1年先を見て，1か月先を見て，何年後に自分はこうありたいならば，今これをやらなければという，しっかりとしたビジョンを持って日々を送っていくことが，これからの人生を左右するということになり，非常に大切であると考えます。 いつか私のように振り返る時期が来たときに，自分の歩んできた道は間違っていなかった，長岡高専を卒業してよかったと思える技術者としてのご活躍を期待します。少なくとも，私は長岡高専を卒業してよかったと思っています。一度きりの人生です。周りに流されることなく，自分の意志をしっかりもって，道を切り開いて行ってください。先般，元アルペンスキートリノオリンピック日本代表，星瑞枝さんの講演会のお話の中で，『中学生の時，長野オリンピックを目の当たりにして，自分もあの舞台に立つんだと強く思い，そのためには何をすべきか，一度きりの人生なのだから，自分の道は自分で決めることにした。』というお話を聴き，深く感銘を受けました。旅立つ皆さんの前には，これからいろんな困難が待ち受けていると思いますが，必ず，その壁を乗り越える，ぶち壊す方法はあります。一つの考え方にとらわれず，いろいろな角度からチャレンジすることで，道は必ず開けます。遠回りする，逃げるという勇気も，時には必要です。不祥事が相次ぐ利益追求の社会の中で，決して技術者倫理を忘れることなく，これからますます多様化していく変革時代においても，日本いや世界の技術を支える人材として活躍されることをお祈りし，お祝いの言葉とさせていただきます。本当におめでとう。

新たな旅立ちへ

同窓会長　伊藤　恒彦

今春それぞれの新たなステージへ旅立つ卒業生の皆さん，この日を待ち望まれたご家族の皆様に心からお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さんは，東日本大震災や同時に発生した重大な原発事故の被害状況の全体が見えなかった頃に本校に入学されました。

それから５年，この大災害の復旧や原発の事故処理の進捗を見てきたことは，皆さんがこれから歩む人生にとって貴重な財産になると思います。

さて，皆さんを取り巻く環境は，原発事故以来大きなテーマとなっている日本のエネルギー問題，頻繁に起こる自然災害への対策そして老朽化するインフラ再整備等々多くの課題が山積しています。

そんな中，経済対策を最優先に展開した結果，ようやく株価も上昇，景気にも回復傾向が見られる中，原油価格の下落などの新たな不安材料が起きている事も事実であり，経済成長を止める事なく進めるため，今後の経済対策に期待したいと思います。

また，昨年日本の科学・技術の分野において，大変すばらしい出来事がありました。皆様もすでにご存じの事ではありますが，ニュートリノ振動の発見により，東京大学教授の梶田隆章氏，熱帯感染症の特効薬開発により，北里大学特別名誉教授の大村智氏がノーベル賞を受賞したことは，日本の科学・技術力は世界に誇れるものであり，これからも世界に誇れる多くの科学者，技術者が生まれるものと期待しています。

一方で，グローバル化する社会においては多くの変化が起きており，科学・技術の分野においても例外ではありません。

その中で生き抜いて行くには自らが先んじて変わっていく必要があり，それには変化を的確に捉え，より早く変化に対応できる能力が求められるのではないでしょうか。

皆さんはこれから専攻科，大学へ進学する方，就職され社会に出られる方と，それぞれの道に進むこととなりますが，自分で選択した新しい道に自信を持ち，迷いなく，悔いを残さぬよう歩んでいただきたいと思います。

新しい道では，いくつものハードルを越えて進むこととなりますが，高志台で学び，過ごした皆さんは，ハードルを越えるために必要な知識やコミュニケーション能力は十分備わっているものと考えています。

最後に，高志台から巣立つ皆さんが，自分の力を信じ新たなステージで高専卒業生として活躍されますことを期待すると共に確信しています。

皆さんの新たな旅立ちにあたり，『健全なる精神は健全なる身体に宿る』の言葉を贈り，お祝いの言葉とさせていただきます。

Memories Album

さよなら高志台　思い出のアルバム

2011-2016

2011.4.5 **入学式**

学科１年生が208名，３・４年の編入生が13名，専攻科生が26名，総勢247名が新たに本校の一員に加わりました。

2013.1.9～11 **２学年スキー合宿研修**

2013.9.26 **３学年工場見学**

2014.9.23～26 **４学年見学旅行**

2015.10.31・11.1 **未工祭**

2011	3月	東日本大震災発生
	7月	サッカー女子W杯で「なでしこジャパン」が初の世界一に
	10月	世界の人口が70億人突破
2012	5月	東京スカイツリータウン開業
	8月	ロンドン五輪で史上最多38個のメダル獲得
	10月	山中伸弥氏のノーベル生理学・医学賞受賞発表
2013	6月	富士山が世界文化遺産に決定
	9月	2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定
	12月	特定秘密保護法成立
2014	2月	関東・甲信地方を中心として記録的大雪
	4月	消費税が5%から8%に増税
	7月	集団的自衛権の行使を認める憲法解釈の変更を閣議決定
2015	3月	北陸新幹線開業
	6月	改正公職選挙法成立
	8月	戦後70年
	9月	安全保障関連法成立
	10月	マイナンバー制度施行
		TPP大筋合意
	11月	パリ同時多発テロ
	12月	日本の研究グループが113番元素の命名権を獲得
2016	1月	大相撲初場所で琴奨菊が日本人力士として10年ぶりの優勝

2011.4.15・16 **新入生合宿研修**

2012.6.2 **創立50周年記念式典**

前年開催の予定でしたが，東日本大震災等のため，本年に延期されて開催されました。

2013.12.18 **クラスマッチ**

2015.10.15 **体育祭**

2016.1.28・29 **卒業研究発表会**

出会いと別れ

新保　貴也

長岡高専に入学してはや５年が経ちました。卒業することを考えるとその後待ち受ける新たな環境に心が躍る反面，どこか寂しい気持ちになります。それは５年間通い続けた高専を離れるからだとはじめは思っていました。しかし，それは違いました。

私はここで多くの人に出会いました。まず，仲間たちです。クラスメートだけでなく，行事や部活動などを通じて学科学年を超えた多くの仲間ができました。毎日を楽しめたのも，部活に全力を注げたのも，無事に大学に合格できたのも全てみんなが一緒にいてくれたおかげだと思います。次に多くの先生方です。中学校までとは違い，年齢的に距離が近い分お世話になる機会が増えました。ギリギリまで勉強してないため，一気に多くの問題を聞きに行くことが多かったのですがそれでも丁寧に教えてくださり，とても助かりました。このような人たちと離れ離れになるのがその気持ちの答えのようです。

みな本当にいい人でしたが，それに自分が甘えていたのも事実です。この別れは自分を成長させるためのよいターニングポイントだと思います。これを機に，また一歩ずつ理想の大人に近づいていきたいと思います。

感動と感謝

忠　康太

多少の反対意見もありながら，大きな希望を持って長岡高専に入学した日から５年が経とうとしています。決して過ぎ去っていった時間ではなく，すべてを見届けたような充実した時間がありました。しかし，それだけたくさんのことがあったために，自分の可能性が広がると同時に，ひとつのことを追及するということをできなかったような気がします。それでも，在学中にたくさんの経験ができたのはここにいたからだと思っています。すべての希望が叶うことはありませんが，自分の選択でこの学校を選んだことに一切の後悔はありません。学外での活動もこの学校にいたからこそであり，学校という出会いの場はとても大切なものであるということにも気づかされました。これから高専を離れることになりますが，あくまで卒業をするということであり，僕が高専にいたということはずっと残るものです。入学してよかったと思わせてくれた，この高専に感謝しています。ありがとう。

卒業おめでとう

１～２学年クラス担任　田原　喜宏

皆さん，卒業おめでとうございます。皆さんは私にとって初めて担任を経験したクラスでした。お世辞にも良い担任であったとは言えませんが，皆さんは私にとっては素晴らしい学生でした。皆さんほど面白く，下らなく，楽しく過ごせるクラスはなかなかありませんでした。成績はちょっと良くなかったけれども,何か行事があれば（なければ勝手に作ったり!），その盛り上りは他の追随を許さない，そんなクラスであったと思います。

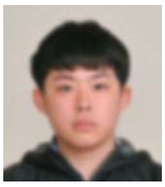
皆さんは今後進学・就職と色々な進路に向かって行きます。この５年間での楽しいこと，辛いこと，重要なこと，下らないこと総て大事な思い出として卒業してくれれば，それが担任としての一番の喜びです。

最後に，皆さんとの思い出を一つ，と思っていたのですが，ちょっと紙面に書くにはアレな話が多いような気がするので,その話はいつか卒業後に会ったときにでも話しましょう。 それではまた，いつの日か。

Go！長岡高専機械魂！

３～５学年クラス担任　河田　剛毅

このクラスのよいところは，何といっても明るく，特に体育祭などの学校行事では元気さを発揮するところです。加えてみんな素直で非常に受け持ちやすいクラスでした。ただ進路についての意識が今一つの感があったので，勉学意欲をかき立てることも狙っていろいろ刺激策（特活でのキャリア学習，見学旅行での意欲的なOBがいる会社など多数の会社・大学見学，反転授業など）を講じてきましたが，私の力不足もあり思ったほど効果がでなかった感があります。そんなこんなで，もう卒業を迎えることとなってしまったので，最後に送る言葉として・・・この先，みんなが成長していくための原動力は「志」,「目的意識」であり，成長の糧となるのは様々な経験です。その中で幾多の困難・壁にぶち当たり，時には失敗や挫折をすることもあるでしょうが，それは成長のために与えられた機会と前向きに捉えよう。熱き長岡高専機械魂を胸に，失敗を恐れずいろいろチャレンジだ！



おわりに

小林　駿斗

高専に入ろうと思った理由は，将来を決める時間が欲しかったからでした。どのように，何になりたいのかと考えたときに，当時は明確な未来像が何も浮かんできませんでした。ただ単に毎日を平凡に，楽しく過ごせればいいと考えていました。

入学当初は理数・専門科目の内容がまるで頭に入らず，のちに文系科目が消えることを思い，少しばかり後悔しました。ですが，３～４年生の頃に，自分から専門分野の本を読むようになり，もっと知りたいという気持ちが強くなりました。そして，多くの専門知識を必要とする宇宙開発に携わるという目標もできました。

５年間という時間はちょうどいいものだったと感じます。文系に行くか，理系に行くかという決定も，自分の終着点を見つけることもできました。また，その中で失敗したことや後悔したこともありますが，楽しかったことに比べると些細なもののように思えます。

高専生活で経験したこと，この５年間の思い出は忘れません。

卒業

水落　広貴

私がこの長岡高専に入学してから5年が経ち，いよいよ卒業間近になりました。入学当初は専門に特化した高専の授業についていけるのかとても不安でしたが，友人との勉強や先輩から勉強法を教えてもらうことで，無事留年せずに卒業を迎えることが出来ました。また，５年生の時は体育祭の団長に選ばれ，選抜リレーの300mで酸欠気味になったことや，研究と学園祭の演劇活動が重なり地獄を見たことなど，私にとって大変な経験をさせていただきました。この５年間は楽しいことだけでなく，辛いこともありましたが，仲間達と一緒に過ごした時間は私にとってかけがえのないものです。

春からは新しい環境での生活が始まります。この長岡高専で学んできたことを十分に生かし，人々の役に立つことの出来る技術者となれるようこれからも頑張りたいと思います。

最後になりますが，この５年間でお世話になった先生方や愉快な仲間達，そして何よりこれまで私を支えてくれた家族に心から感謝を込めて，ありがとうございました。

希望の力とともに

１～２学年クラス担任　小川　秀

ご卒業おめでとうございます。

東日本大震災からわずかひと月後の平成23年春に初々しい皆さんをクラス担任として迎えました。そして，めでたく今日の日を迎えられた皆さんには間違いなく「希望の力」が備わっているはずです。テストや卒研等で思うような結果が出なかった時，次はこうしてみようと考え，行動しましたよね？　それは挫折や逆境にあっても最後はうまくいくだろうと信じて進む力があったからです。この「希望の力」は，スポーツ大会の本番でベストを出すために不可欠な能力である以上に，人生の様々な局面で恩恵をもたらしてくれることが科学的にわかってきました。勿論，根拠のない楽観ではなく，自らの現実に裏付けられた楽観であることは重要です。それぞれの道を歩まれる卒業生の皆さん，これから出会う幾多の解のない難問には，長岡高専で得た多くの成果とともに「希望の力」を忘れずに対していきましょう。さらなるご活躍をお祈りしています。

幸せを感じるとき

３～５学年クラス担任　恒岡まさき

ご卒業おめでとう。

さて，皆さんはそれぞれの進路に向けて長岡高専を晴れて卒業していくわけですが，最後に恒岡から一言申し上げます。人間はどんな時に幸せを感じるかです。どこかの御坊様のお言葉を頂戴しました。

１．人から愛されること
２．人から褒められること
３．人の役に立つこと
４．人から必要とされること

だそうです。皆さんが今後このようなことを一つでも多くかみしめて元気でご活躍されることを心から願っております。

卒業
金塚　裕也

私が長岡高専に入学してから早くも５年の月日が経とうとしています。卒業を間近に控え，去り行く研究室の掃除の合間に学園だよりの原稿を書いています。入学当時は長いように感じた５年間を振り返ってみると，少しだけの寂しさとたくさんの方々への感謝でいっぱいです。

初雪にテンションが上りグラウンドで雪だるまを作った思い出，見学旅行先でクラスメートの財布を探すため京都の夜を駆け巡った思い出，はしゃぎ過ぎてスキー合宿を休み皆勤賞を逃した思い出，クラスメートと共に山の中で薪を焚きドラム缶風呂に入った思い出，とても400字の原稿には収まりきらないほどたくさんの思い出があります。そして，大変なことも多かった高専生活を乗り切れたのも，共にふざけ，学び，高め合った友人たちのおかげです。

来年からは長岡から少し離れた愛知県で新しい生活が始まります。５年間の高専生活は私にとって大きな財産であり，これから始まる新しい生活の大きな糧になると思います。最後にこの場を借りて，この胸いっぱいの感謝を送ります。ありがとう。

５年間
齋藤　紫苑

長岡高専に入学したばかりの頃は，同じ学校に５年間いるのはとても長く感じるだろうなと考えていました。しかし，いざ過ごしてみるとテストや行事，部活動をこなしているだけであっという間に４年間がたち，残りの１年も就職活動と卒業研究であっという間に終わってしまいました。他にも，友人達との思い出や，毎日受けてきた授業，何気ない日々の１コマがたくさんあり，少し振り返っただけでは思い出しきれないくらいの数多くの思い出があります。しかし，時には本当にこの学校を選んで良かったのか，もっと他にいい選択があったのではないか，進学してより深く知識を身につけてから社会に出たほうが良かったのではないかと思う日もありました。それでも，今思うと高専に来て，自分の考えたようにやってみて本当に良かったと思っています。今までやってきた全てのことが，かけがえのない思い出になりました。最後に，今まで支えてくださった方々に感謝の言葉を言いたいです。本当にありがとうございました。

卒業おめでとう
１～２学年クラス担任　佐藤　秀一

皆さんの入学時にまず印象的だったのは新入生合宿。クラスミーティングで自己紹介をしてもらいましたが，何だか異様な盛り上がりを見せ，楽しそうな集団だと思いました。学校生活が始まると，リーダーシップを発揮する人，世話好き？の人，作文ができない人，漢字が書けない人，提出物が必ず遅れる人，授業中後ろを向いてしゃべり続ける人，教室の掃除を他人任せにする人などの存在が発覚し，いろいろと楽しませてもらいました。１～２年時は勉学も課外活動も概ね順調に過ごせたかと思います。

その後の高専生活はどうだったでしょう。「高専は自由」とよく言われます。やるやらないも自由なわけですが，皆さんのことですから，何かに打ち込みやり切ったという達成感，そしてそれに基づく自信を持って，卒業していくのだと推察します。

卒業後の環境は今までとは違うと思いますが。謙虚な気持ちで今後も頑張ってください。何はともあれ，卒業おめでとう。

卒業おめでとう
３～５学年クラス担任　永井　睦

卒業おめでとう。皆さんの担任になって，あっという間に３年間が過ぎました。この短い間に，学校生活の中で成長した皆さんの姿に驚き，また頼もしく感じもしました。それらが思い出に変わりつつあることに，一抹の寂しい思いを感じています。振り返ってみると，人の絆と和を大切にするクラスであったことが一番強く印象に残っています。柔らかく繋がった団結力がクラスの最大の長所でした。

４月からは新しい環境に身を置き，新しい挑戦に臨むことと思います。皆さんなら，新しい出会いの中で周囲と信頼関係を築きながら，様々な経験を自らの成長につなげていってくれる事でしょう。「自分のために」，「友人のために」，さらに視野を広げて，「社会のために」何ができるのかを考えて前進してください。皆さんの未来が，希望に満ちたものになるよう祈っています。

卒業に向けて

阿部　聖人

この長岡高専で過ごした５年間は，私の20年の人生の中で非常に印象深い時間でしたが，駆け抜けるように過ぎていったと感じています。これは，高専で過ごした時間が他のどの時間よりも濃密であったからでしょう。入学式の日から今日まで，様々な人たちと出会い，様々な事を学び，様々な苦楽を仲間たちと共に分かち合ってきました。そのどれもが今はただ懐かしく，思い返す度に自分がこの学校を卒業するのだという事を改めて実感します。毎年，先輩方が卒業していく姿を見て，自分もいつか卒業するのだと漠然と考えていましたが，どこか関係の無い事のようにも感じていました。しかし，気が付けばもう卒業。本当に時間が流れるのは早いものです。

私はこの春から新しい生活を始めます。見知らぬ土地での暮らしに不安もありますが，次の時間もより濃密なものにしていけたらと思います。５年間，本当にお世話になりました。

高専での５年間

神保　統揚

長岡高専に入学して，あっという間に５年が経ちました。思えば僕自身，この５年間でいろいろなことがありました。クラス委員を務めたり，体育祭で走ったりと，良い経験や良い思い出がたくさんできました。また，この５年間でいろいろな人と出会いました。入学式にジーパンで来た人や，寮の天上に頭突きで穴を開けた人や，酔いつぶれた人を傘で突いた兄弟や，趣味がスクワットの人など，みんなと一緒に卒業できることをうれしく思います。さらに，元同級生の後輩や，曲がりきれずに標識に突撃した先輩などとも出会い，充実した高専生活を送ることができました。はじめは，就職に有利だからという単純な理由で入学しましたが，今ではこの高専に来て本当に良かったと思います。

今後，僕は就職のため県外に出ますが，この高専で経験したことや学んだことを忘れずに，今までと同じくらい楽しい毎日を過ごしたいと思います。５年間，本当にありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます

１～２学年クラス担任　松永　茂樹

物質５年生の皆さん，ご卒業おめでとうございます。

５年間の長い高専生活を終えて卒業していく皆さんの喜びはこの上ないものであろうと推察します。私がクラス担任を務めた１，２年生の頃の物質クラスは，一人ひとりが個性的な持ち味を持った活気に満ちたクラスだという印象でした。皆さんから溢れ出るパワーに負けないように，私も気合を入れてクラス担任を務めた日々を懐かしく思い出します。高学年になってからも，皆さんのスポーツや研究など文武両面での様々な活躍を目にする機会があり，旧担任としても嬉しく思っていました。皆さんはこれで高専を卒業しますが，勉強は広い意味で今後も続きます。皆さんが卒業後もさらに研鑽を重ね，様々な分野で力を発揮し，社会に貢献する人達になってほしいと願っています。

卒業おめでとう

３～５学年クラス担任　岩井　裕

皆さん，卒業おめでとうございます。

早いもので，もう卒業を迎えることとなりました。私は後半の３年間を受け持ちましたが，まさに光陰矢の如しの感です。

目標を持って物事に取り組んでいたのでしょうか，欠席が少ないのも大変良かった。学園祭や体育祭の様子をみていますと，身近なところだけでなく学校全体も指導できる人材に恵まれたクラスだと思いました。

順調に学業を進めている学生もいれば苦労している学生もおりましたが，卒研発表の様子を見るとなんとか結果を残せたなと確信できました。

卒業と言っても，人生の一里塚です。社会に飛び立つ人，大学に進む人，専攻科に残る人，様々ですが，常に向上心を忘れないで，夢に向かって邁進してください。これから様々なことに挑戦してください。

たくさんの感謝を

佐藤　信輔

長岡高専に入学してから５年が経ち，いよいよ卒業が近づいてきました。入学時に長いと感じた５年間はあっという間で，特に５年生での様々な思い出は，つい昨日のことのように思い出すことができます。

これまでの高専生活を振り返ると，本当に多くの方々に支えていただいた５年間であったと感じています。日々の授業を担当していただいた教員の方々や，同じ教室で苦楽をともに過ごしたクラスメートはもちろんのこと，学校のことのみならず多くのことを教えていただいたデザイン部の先輩方や，楽しい後輩達などここに書き記せないほど多くの方々に支えていただきました。そのおかげで，私は多くの貴重なことを学ぶことができ，また一つ成長することができました。

最後に，この５年間で私のことを支えてくれた全ての方には，感謝してもしきれません。いつかこのたくさんの感謝を返すことができるように，これからも努力していきたいです。本当にありがとうございました。

５年間の高専生活を振り返って

森山　諒

私が長岡高専に入学した頃，５年間という高専生活は非常に長いのだろうと思っていました。しかし卒業が近くなった今になって振り返ってみるとあっという間な５年間だったと感じます。あっという間なこの５年間で一番がんばったと思うことは部活動です。私は柔道部に所属していたのですが，１年生の入部したての頃は本当に弱くて練習でも試合でも全く勝てませんでした。しかし，先生の指導や先輩のアドバイスのおかげで高専大会において結果を残せるようになりました。もし部活をやっていなかったら私はただただ家でだらけた生活をして何の取り柄もなかったことでしょう。本当に部活を続けていてよかったと思います。在校生の皆さんも，「部活をやれ」とは言いませんが，何か一つのことに打ち込めるものがあればとても充実した高専生活を過ごせると思います。ですので，ぜひ，何か見つけて頑張ってみてください。

卒業生へ　「前向きに」

１学年クラス担任　阿部　髙弘

私が小学生の頃「巨人の星」というマンガが流行していました。主人公「星飛雄馬」が野球で活躍していくストーリーです。なぜか宮本武蔵を回想するシーンがあったのを記憶しています。そこでは宮本武蔵がドブに「前向きに」顔をつけて死んで倒れているシーンがあったのを記憶しています。

私は宮本武蔵は死ぬときも「前向きに」という生き方に感銘を受けました。そして，人生を何事も「前向きに」生きたいと思ったシーンでした。

（実際の武蔵はどう死んだかは定かではありません。）

卒業生のみなさんはどのような人生を送りたいと考えていますか？

「前向きに」生きる人生にはすてきな未来が待っているかもしれません。

ご活躍を期待します。

羽ばたけ明るい未来へ

３～５学年クラス担任　山本　隆広

ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学すると同時に私も長岡高専に赴任しました。そういった意味で私も高専５年生と言えるでしょう。私は皆さんがそれぞれに成長していく様を身近で見ていくという機会に恵まれました。とりわけ５年生になると，ふとした瞬間に大人になったなと驚かされる機会に何度も遭遇しました。

新天地が間近にせまる中，期待と不安で心が交錯していませんか？私から一つアドバイスできることがあるとすれば，「世間は温かい」ということです。困難にあっても，粘り強く頑張ってください。必ず誰かが温かく見守ってくれています。礼節を守り，今後も，思う存分成長を続けてください。皆さんの翼はこの５年間でさらに大きくなりました。さらに上の高みに向けて羽ばたいていく準備はできています。勇気をもって踏み出してください。

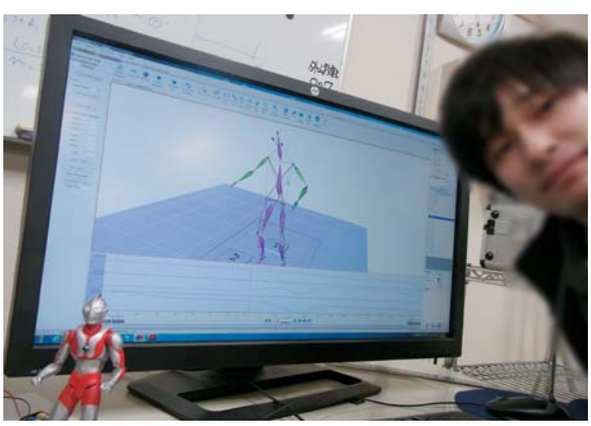
最後に，新天地での皆さんのご活躍を祈念しております。

さよなら高志台

高専での４年間

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）
宮下　歩

長岡高専に編入してから４年が経ちました。この４年間はあっという間で楽しくもあり，忙しくもあった日々でした。編入した当初はよそ者ということで上手くやっていけるか不安でした。しかし，クラスメートに親しみやすい人が多く，そんな不安も吹き飛びました。もし違うクラスだったら今の自分はないくらいだったのではないかと思います。 専攻科では，研究活動がメインとなり，特に専攻科２年の時は，これまで部活以外でこんなに熱心になった事があったかというくらい頑張った気がします。その中でやらかしてしまい，研究室から追い出されそうになるなどありましたが，今となっては良い経験だったと思います。春からは社会人として新しい生活が始まりますが，高専生活で経験したことを活かし社会に貢献したいと思います。最後に，高専生活で関わってくださった方々へ心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



特別研究発表会を終えて

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）
三浦　拓巳

１月22日に行われた特別研究発表会にて，専攻科における２年間の研究の成果を発表してきました。

２年生は口頭発表を行いましたが，いい緊張感を保ちつつ落ち着いて発表できたと思います。今年度の２年生は学位認定試験が免除され，これまでの先輩方よりも多くの時間を研究に割くことができました。私の研究室では途中，レーザー装置が壊れてしまい実験が行えなくなるというアクシデントもありましたが，指導教員である中村先生の助けもあって無事に目標としていた成果を出すことができました。中村先生には心より感謝をしております。

専攻科での２年間はあっという間で，発表会を終えた後は達成感と同時に少しさみしさも感じました。専攻科での生活はレポートや研究，そして進学や就職活動をこなしていくうちにあっという間に過ぎていってしまいます。今の１年生やこれから専攻科に入学する学生は有意義な毎日を過ごせるよう頑張ってください。

思い出の場所

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）
松本　雄大

専攻科に進学して教室がなくなりました。皆さん知っての通り専攻科生には自分の教室がないので，学校に登校したら研究室に向かうようになります。だから，僕の２年間の思い出の場所は研究室です。高専生は良い意味でも悪い意味でも個性的な人たちが多いと思いますが，研究室メンバーもそうでした。そんな人たちとの毎日の会話は楽しかったし，普通やらないこともたくさんできた気がします。最近の出来事を取り上げると，中庭に降り積もった雪で全力のかまくら作りをしました。22歳になってやるとは思っていませんでしたが，ただただ楽しかったです。翌日の筋肉痛も心地よかったです。２年間毎日休まずに通ってきたとは言えませんが，年中室温が低めで，夏は冷房が効きすぎて寒く，冬は暖房が効かなすぎて

寒い研究室で過ごしてきた日々は良い思い出です。こんなにも楽しい日々を過ごせたのは，この研究室で，指導教員が梅田先生で，メンバーがみんなだったからだと思います。本当にありがとうございました。

これを書いている今，残りの学校生活は１か月程度と少ないですが，ひとつでも多くの心に残る出来事が起こることを期待しています。卒業式でこれを読んだ僕，どうでしたか？

学会を通じた自分の成長

物質工学専攻（物質工学科出身）
金井　綾香

私がこの２年間の中で最も緊張した学会は国際学会であるICTMC-19での発表でした。なぜなら，幸運にもその学会で口頭発表をさせて頂けることになったからです。日本語の発表もこれまで数える程度しか経験してこなかった私には非常に重い責任でした。しかし，英語と真正面から向き合える良い機会となり，毎日必死に練習を重ねた結果，発表は無事に終えることが出来ました。その後も国内外問わず多くの学会に参加し，その度に緊張と苦労を重ね，何度も自分の無力さを痛感した一方，何度も自分の糧になる知識を得ることが出来ました。この専攻科に在籍する間に発表する機会を沢山頂けたことは，将来，研究人生を歩む自分にとって非常に良い刺激となり，研究者として自分自身に何が足りないのかを知ることが出来る貴重な経験となりました。後輩の皆さんも，そのようなチャンスが降ってきたなら，ぜひ挑戦してみてください。きっと，人生の糧になります。

特別研究発表会を終えて

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）
刈谷　潤貴

第15回専攻科特別研究発表会にて学生として最後の研究発表が終わりました。専攻科で研究した２年間をわずか10分の発表にまとめることは非常に難しかったです。さらに，聞き手は学生，教職員だけでなく一般企業の方も多くいらっしゃるため“わかりやすく”が求められます。この“わかりやすく”はパワーポイントの工夫や言葉の選択，相手に伝える気持ちなどの技術が必要であり，今までの学会発表の経験がとても生かされたと感じています。「大満足」とは言えない発表ではありましたが，少しでも研究の成果・内容が伝わっていればと思います。私はこれから社会人の仲間入りをしますが，相手に“わかりやすく”という点は常に持ち続けて努力を重ねていきたいと思います。

最後に，これまで研究の指導をして頂いた村上先生，先輩方，実験等のお手伝いをしていただいた同学年の仲間，後輩のみなさんにこの場を借りて感謝いたします。

さよなら高志台

ありがとうございました！

機械工学科
リー　ヨン　セン

長岡高専での３年間はあっという間でした。この３年間は私にとって非常に素晴らしい経験となりました。この３年間を振り返るといろいろな日本についての文化と祭りを学びました。幸せなことやつらいことをクラスメートと友達と一緒に過ごせたことです。そして，そのつらいことのおかげで，自分も成長することができました。次に，分からないことがあった時に優しい先生のアドバイスのおかげで無事に５年間過ごせました。一緒に遊んだりサポートしてくれたりした留学生と日本人の友達はまるで家族のようです。また，留学生のためにさまざまなイベントを企画してくれてありがとうございました。みんな大変お世話になりました。私の高専の生活に関わった家族と友達に深く感謝します。これから，別れとなりますが，将来またいつか会うことを信じています。最後に，これからまた新しい生活に乗って，知らない自分の価値を探し続けます。高専での貴重な思い出は絶対に忘れられません。Take Care Everyone.

ありがとうございました！

さよなら，私の仲間！

電子制御工学科
グエン　トゥン　アン

電子制御工学科５年アンです。３年間長岡高専で勉強し，あっという間に卒業する気がします。３年間の間には楽しい時も寂しい時も色々な体験を身に付けました。先生やクラスメートたちやチューターさんから大変お世話になりまして，誠に心からの感謝を申し上げます。

春休みが終わると，みんなは大学進学および就職で様々な環境にまた慣れなければなりません。大変だと分かっていますが高専卒を自分の誇りにして，勉強や仕事などを一生懸命頑張って，自分の力を社会に貢献できればすごく有意義な人生だと思います。私はこれから専攻科に進学して，現在の研究も続けたいと考えています。そもそも研究することが興味深いので，将来は研究者になることを目指しています。専攻科で自分の夢に一歩近づくことができることを期待しています。

「一期一会」という言葉はみんなご存知でしょうか。人生はいつもそうです。寂しいかもしれませんがみんなに会える長い時間の思い出を絶対に忘れず，心に刻みますよ。それでは「さよなら」。

Terima Kasih!

物質工学科
キキ　カスアリ　アリフィン

夏が嫌だった私は，長岡花火を見て，泣くほど感動しました。その後夏が来る時はいつもワクワクで楽しみにしているようになりました。このように，嫌なものに，良いものを与えてくれることを私は「長岡花火効果」と呼んでいます。この３年間，何も知らなかった留学生の私は，大変なことがあるたびに，先生方をはじめ，日本人の友達や他の留学生達が，笑顔で優しく指摘や応援をくださいました。長岡高専では，私に「長岡花火効果」を与えてくれる者が沢山いらっしゃって，とても心強い場

所です。

３年間を通して，長岡高専のみんなのおかげで，今自分は何をやりたいか，ますますはっきりとなってきました。次は別のところで，別の学科について勉強しに行きます。新しいことばかりで大変かもしれませんが，長岡高専のみなさんから学んだことや暖かさを心込めて，これからも頑張って行きたいと思います。３年間お世話になりました。Terima kasih!

４年生のクラスマッチ

物質工学科

カン　メイ　キー

長岡高専で勉強をはじめてもう３年になりました。高専に来たばかりの時は，先生の授業が分かるのか，クラスメートと仲良く出来るのか心配でした。しかし，先生がいつも分かりやすい言葉で授業を教えてくれて，クラスメートもいつも声をかけてくれて，皆のおかげですぐに高専の生活に慣れてきました。この３年間に，色々なことを学んだり体験することが出来ました。初めての歓迎会，クラスマッチ，学園祭，見学旅行など，たくさんのことはとても大切で忘れられない一生の思い出です。一番印象残っているのは４年生のクラスマッチでした。その日は遠足の日でしたが，天気が悪くクラスマッチに変更になりました。私は料理員の一人で，クラスマッチが終わった後でクラスメートと一緒に自分の国の料理を作りました。皆が美味しく食べている姿を見て，自分も嬉しくて，とても満足でした。もうすぐ皆と別れなければなりませんが，先生と友達のおかげで，この３年間は私にとってとても貴重な時間を過ごすことが出来ました。皆に感謝しています。長岡高専で勉強できて，ほんとに良かったと思っています。

楽しい時間は早いものだ

環境都市工学科

グエン　ティエン　シー

３年間は長いだろうが，あっという間と感じています。ここに雪を見ながらこの文章を書いている私には長岡高専での３年間の思い出がいっぱい浮かんできています。３年前入学し，しばらくは慣れない高専生活に不安でいっぱいでした。クラスの中で唯一の外国人として，皆さんと仲良くできるか，授業内容を聞き取れるかなどを心配しました。しかし，チューター，寮生，クラスの皆に話しかけてみて，仲良くでき，日々の授業や生活などが自然にいつの間にか終わってしまう。そして，授業についていけなかった私をいつも支えてくださる先生方に感謝します。一番印象残っているのはやはり４年生の研修旅行でした。特にあの翌朝, あの朝日のことでした。海の匂い，冷たい風，澄んでいる空，眠れない友人たちの笑声とも合わせて素敵な瞬間を過ごせました。将来どうなるかわかりませんが，３年間のことは私の胸の中にあると信じます。‘いつもお世話になっております。’

退職に際して

物質工学科
岩井　裕

この３月をもって本校を退職します。着任以来，皆様方には公私にわたり，心温まる御指導・御厚情を賜り，お蔭様で大過なく職責を全うすることが出来ました。心から感謝申し上げます。有難うございました。

着任早々集中豪雨の洗礼を受け，本県の自然の巨大なエネルギーを感じることとなりました。やはり中越地震の経験は自然の巨大さをまさに身をもって経験し，その後の東日本大震災に思いをはせることになりました。そういいつつも近隣の山々をのんびりと旅したりしたものです。

クラス担任では元気な学生と向かい合うなかで，大いに刺激が得られました。なかには厳しい状況におかれた学生を見守ることもありました。どの程度の支援ができたか心許ないものもあり，慚愧の念も残ります。しかし卒業生は皆各界で活躍し，学会でもたびたびお会いしてはいろいろ情報交換させていただいています。

教育研究では，時宜に即したテーマを自由にやらせていただき感謝しています。人事交流で長岡技大に出向させていただいた折には「高温超伝導フィーバー」に出会い，大変貴重な経験をさせていただきました。 最近では，公表後の研究を卒研生と一緒に見直していたらすこし面白いことが見つかる幸運に恵まれました。往生際が悪いと言われそうですが，これをタネにして，これから１～２年ささやかながら延長戦を楽しませていただくことになりました。

長らくお世話になりました。これからもよろしくお願いします。

定年雑感

総務課専門員（施設担当）
片桐　正幸

平成13年２月１日（木）長岡高専に赴任して早15年，施設的に振り返ってみれば，はじめは６号館新設，そして増築。事前協議から設計，発注まで一係で成し遂げる高専施設事務の大変さを実感。つづいて４号館の耐震改修，法人化となり，中越地震災害復旧工事，エレベータ設置によるバリアフリー計画達成，寮の空調導入，第一体育館の屋根張替，等々。

中でも一番の大事業であった中越地震災害復旧工事は，総事業費約74億円を17・18年度の２年で完成するというもので，多くの方々の協力の元に成しえたこと，感慨深いものがあります。

想えばこれらの事業を通して長岡高専に深く関わりながら定年まで勤めることができたことに，施設担当として幸せであったと感じております。

あらためて多くの方々の支援をいただけたことに感謝いたします。

長岡高専ありがとう

学生課図書係
久保田　昌代

長岡高専での勤務は昭和55年（1980年）12月からですので35年になります。私は職業人としての大半を高専で過ごしました。最初の10年余は庶務系，その後は図書館です。ホームグラウンドの図書館についてお話ししたいと思います。

私が図書館勤務になったころには，本の貸出・登録などは電子化されていましたが，今のクラウド型のシステムと違い，機械室に行って磁気テープでデータの吸い上げ・落とし込みが必要，異常終了にならないか，いつもドキドキしながら作業をしました。

PC・インターネットの普及でデータベースや電子ジャーナルがなくてはならない存在になりました。郵送で届く雑誌と違い，世界中の人と同時に読むことができます。しかも出版前の論文まで。

残念なことは，本を読んだり，図書館で調べ物をする学生が少なくなったことです。

図書館の役割として学生の自主学習へのサポートも大きくなりました。グループ学習室などの充実，学習支援の実施などです。

大きな出来事は中越地震。書架が倒れてしまいました。段ボール詰めした本を学外に預け，書架を新たに作り，戻す作業。このときは多くの学生，教職員，新潟県内の大学図書館の方々にお世話になりました。

何よりの幸せは学生の皆さんと接することができたことです。高専に勤務することができて良かったです。

多くの方にお世話になりました。ありがとうございます。

卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰

■ 独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰

環境都市工学科　坂詰　康也

■ 長岡高専の学則に定める賞

（学科）

功労賞

電気電子システム工学科	小川耀一朗
機械工学科	橋立　大
物質工学科	清水　真穂
物質工学科	梶原　優奈

精励賞

機械工学科	小島　秀仁
物質工学科	笹川　祥平

皆勤賞

機械工学科	小島　秀仁
機械工学科	堀川　智史
機械工学科	源川　竜也
電気電子システム工学科	石黒　翔太
電気電子システム工学科	前田　隆宏
電子制御工学科	伊藤　洸介
電子制御工学科	岩渕　雅人
電子制御工学科	木村亮太郎
電子制御工学科	小梶金志郎
電子制御工学科	南雲　祥多
電子制御工学科	樋渡　功太
物質工学科	茨木　彩乃
物質工学科	菊入　祐生
物質工学科	齊藤　篤弘
物質工学科	德橋　瞭
物質工学科	林　智哉
物質工学科	最上　真鈴
環境都市工学科	小林　美憂
環境都市工学科	佐藤　信輔

（専攻科）

特別表彰

電子機械システム工学専攻	川村　裕子
物質工学専攻	金井　綾香

■ 各種学会賞等

日本機械学会　畠山賞

機械工学科　小島　秀仁

第５回 高専-TUT太陽電池合同シンポジウム　優秀ポスター賞

物質工学科	阿部　聖人
物質工学科	笹川　祥平

日本化学会関東支部　支部長賞

物質工学科	笹川　祥平
物質工学科	KICKY KASUARI ARIFIN

全国高専土木工学会　近藤賞

環境都市工学科　小林　美憂

第25回 電気学会東京支部新潟支所研究発表会　優秀発表賞

電子機械システム工学専攻　川村　裕子

電子情報通信学会信越支部　学生奨励賞

電子機械システム工学専攻	江平　大
電子機械システム工学専攻	戸田　将平

■ 同窓会長賞

バレーボール部	電気電子システム工学科	中川　雅斗
	電気電子システム工学科	西脇　和希
	物質工学科	林　智哉
	環境都市工学科	長谷川　歩
柔　道　部	物質工学科	渡部　領一
	環境都市工学科	森山　諒
水　泳　部	電子制御工学科	西山　真史
	物質工学科	清水　真穂
	環境都市工学科	岡　伸哉
写　真　部	環境都市工学科	坂詰　康也
英　語　部	電子制御工学科	金塚　裕也

進路状況 （３月19日現在）

学科

区分 / 学科	進路				
	卒業者数	進学者数	就職者数		その他
			県内	県外	
機械工学科	34	17	11	4	2
電気電子システム工学科	43	34	3	6	0
電子制御工学科	40	34	5	1	0
物質工学科	42	36	2	3	1
環境都市工学科	46	31	10	5	0
計	205	152	31	19	3

専攻科

区分 / 専攻	進路				
	修了者数	進学者数	就職者数		その他
			県内	県外	
電子機械システム工学専攻	22	10	5	7	0
物質工学専攻	8	1	2	5	0
環境都市工学専攻	6	0	6	0	0
計	36	11	13	12	0

1

2

3

PICK UP 2015　世界に広がるKOSENの輪

1 2015年5月15日, 本校はモンゴル工業技術大学（IET）との間で学術交流協定及び学生交流覚書を締結しました。長岡高専で行われた調印式には，モンゴル工業技術大学客員教授・モンゴル高専理事長である中西佑二氏が来校，本校渡邉校長，関係者らが出席し，協定書に署名しました。本協定・覚書の締結は，昨年，モンゴルにモンゴル高専が開校されたことや，本校渡邉校長がモンゴルを訪問し，現地の優秀な学生を実際に見てきたこともあり実現しました。

2 2015年６月７日～13日，泰日工業大学（タイ国，TNI）から15名の学生と２名の教員が本校に来校し，第２回LED MUSIC DANCE大会を行いました。 泰日工業大学は2007年に日本型ものづくり大学としてバンコクに開学した大学で，卒業生の50％以上は日系企業に就職するなど，日本及び日系企業と関係の深い大学です。

3 2015年８月12日，メキシコのグアナファト並びにサラマンカにて日本の高専プログラムに沿ったKOSENが同時に開学しました。開学式には，本校より渡邉校長，赤澤准教授，小山高専校長，茨城高専校長，福島高専校長，長岡技術科学大学長等大勢が日本より招待者として参列しました。通称メキシコKOSENは本校の教育カリキュラムをモデルとしており，これまでに関係者が相互に視察し，本校は既に関係機関であるグアナファト大学と学術教育交流協定及び学生交流に関する覚書を締結しています。

4 2015年９月16日～18日，ホテルニューオータニ長岡とアオーレ長岡を会場に，第９回国際工学教育研究集会が本校をホスト校として開催されました。

この国際工学教育研究集会（ISATE）は，独立行政法人国立高等専門学校機構，長岡技術科学大学，豊橋技術科学大学とシンガポールのポリテク５校の協同によって技術者教育や工学教育を実践する教職員が，その教育上の経験を共有する機会の提供を目的として開催されています。

今年度は“A New Insight for Future Engineering and Educational Systems”をテーマとして開催しました。参加者は海外64名，国内107名　計171名で，昨年度までと発表形式を変え，グループワークを中心とした内容で行いました。活発な議論，意見交換がなされ，参加者全員が交流を深め，盛況のうちに無事終了することができました。

5 2016年１月11日～15日，マレーシア大学国際教育カレッジ（INTEC）高専予備教育コース（KTJ）に学ぶ１年生80名を対象に，「基礎情報処理Ⅰ」の集中講義を電気電子システム工学科山﨑教授が実施しました。高専予備教育コースは，高専に留学する学生の事前教育を実施する２年間のコースで，今回の授業は，高専３年生編入学後の学習を円滑にするため設けられているもので，１年生を対象に正規科目として実施しており，今年で２年目となります。

それぞれの記事は本校ホームページにも掲載しています。併せてご覧ください。　http://www.nagaoka-ct.ac.jp/zaikou/33029.html
また，学生の生の声を集めた「高志台学園ひろば」　https://www2.st.nagaoka-ct.ac.jp/koho/（要ID，パスワード）もご覧ください。

4

4

5

UD FONT
ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき，より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルフォントを採用しています。